

# インドで白内障プロジェクト

## PMS、アムダと提携140人超が光を回復

比叡山延暦寺で修行し、本国インドに天台宗寺院「禅定林」を開山したサンガラトナ・法天・マナケ住職。禅定林はインド中央部のナグプールにある。宗教面のみならず教育や福祉などにも取り組んでいる。こうした社会活動の母体となっているのが禅定林の外郭組織であるパンニャ・メッタサンガ(PMS)であり、これらをバックアップしているのが天台宗一隅を照らす運動総本部である。

PMSはインドで多方面にわたって活動中だが、昨年からは医療分野に白内障手術プロジェクトが加わった。岡山市に本部を置く国際的な医療支援団体、特定非営利法人AMD A(アムダ)と提携したものだ。

つまり、このプロジェクトは一隅を照らす運動総本部・PMS・アムダの三者が合同することで実現したのである。白内障は、水晶体が白く混濁

してくる病気だが、加齢によって発症する。しかしインドでは、「50度近くまで上昇する気温、乾燥や埃といった過酷な気候のため(機関紙)白内障に罹る割合が高い。もともと巡回医療をしていた頃から白内障患者

が多いことにサンガ住職が気付いていた、とPMS J(パンニャ・メッタ協会日本委員会)の荒樋勝善事務局長は解説する。「見えない苦しみ、それに伴う精神的な苦痛と二重の苦しみを抱えているのです」と顔を曇らす。

そのうえ貧しいため手術ができずにいた。何とかできないか——。こうした思いから、問題意識を共有した三者がそれぞれ協力し合って無料手術を可能にした。昨年2月、禅定林で最初の検診があり191人が受診。白内障患者は74人であった。そのうち39人が手術した。今年7月は病院での実施というこ

ともあり、受診した30人がすべて白内障で手術となった。これまでに8回行われ、143人が手術

し光を取り戻した。治療にはアムダの現地人医師があたっている。あきらめていた視力回復に住民からは喜びの声が届いている。いったんは途絶えがちだった巡回医療も三者によって再開された。日本でいう無医村地域をまわった。診察と同時に「基本的な衛生観念や予防知識を啓蒙することにもつながっている(荒樋氏)。今年2月には一隅を照らす運動総本部の横山照泰総本部長が現地を視察し



手術を必要とする患者たち

一隅を照らす運動総本部・パンニャメッタサンガ・AMD A 三者合同 白内障手術実績(AMD A提供)

| 実施日         | 実施場所            | 受診者数 | 白内障患者数 | 施術者数 |
|-------------|-----------------|------|--------|------|
| 2014, 2, 15 | 禅定林             | 191  | 74     | 39   |
| 2014, 5, 16 | PMS学舎           | 131  | 30     | 14   |
| 2014, 6, 24 | バンダラ県パヘラ村       | 78   | 33     | 8    |
| 2014, 9, 17 | ナグプール           | 14   | 14     | 14   |
| 2015, 4, 17 | バンダラ県ポーニー市ヴェルリ村 | 88   | 37     | 22   |
| 2015, 5, 4  | 禅定林             | 94   | 36     | 14   |
| 2015, 5, 27 | 北ナグプールナラ町       | 49   | 4      | 2    |
| 2015, 7, 15 | マハトメ病院          | 30   | 30     | 30   |
| これまでの患者総数   |                 | 675  | 258    | 143  |

ちなみに今回の巡回医療で訪れた場所は、禅定林より南東300キロにある原住部族の村、シロンチャ。この地域の施設名は、「薬師如来移動病院」と命名されている。

一隅を照らす運動総本部の話

パンニャメッタの支援は、学校建設支援、孤児等があるが、巡回医療では、インドにおいて文明社会から取り残された無医村地域をサンガ師が選定し、それに対して支援を行っている。

この度訪れた地域は、まさに文明社会から隔絶した村であり、電気も近年ようやく通ったところである。支援を通じて、現地の人たちの素直な喜びの表情を見ると、この人たちのために支援を続けていかなければと、逆に元気をいただくあり様で、私たちの活動における何よりの励みでもある。これも日本全国の一隅を照らす運動の支援者よりのご協力があればできることであり、そこには、伝教大師の「忘己利他」のご精神が生かされていることを実感する。